



岩国市教育委員会



二次元コードから
閲覧可能です。

地域連携教育は 子供の心に何を残すのか!?



文部科学省は、“教育振興基本計画”（令和5年6月16日閣議決定）の中で、次のように述べています。「日本社会に根差したウェルビーイングの要素としては、“幸福感（現在と将来、自分と周りの他者）”“学校や地域でのつながり”“協働性”“利他性への理解”“自己肯定感”……等が挙げられる。これらを、教育を通じて向上させていくことが重要であり、その結果として特に子供たちの主観的な認識が変化したかについてエビデンスを収集していくことが求められる。」

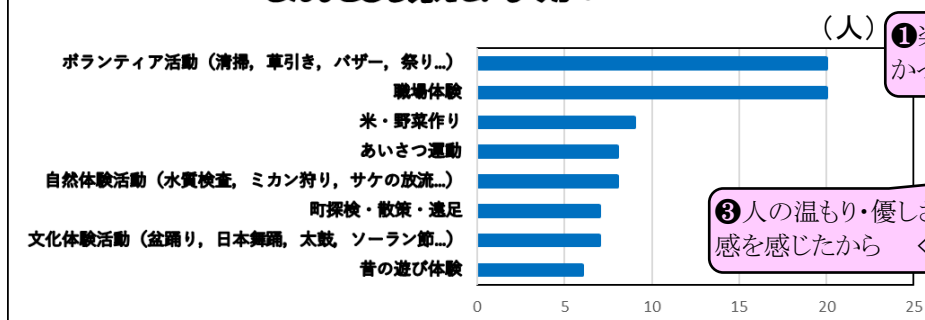
本号では、「地域連携教育」について、岩国 YMCA 保健看護専門学校 保健看護学科 1 年生対象に行った講義における学生の声を紹介します。 ※ エビデンス…根拠, 証拠, 裏付け, 客観的事実

学生から見た 地域連携教育の魅力や心に残る活動とは！

【講義の内容】① 地域連携教育って 何？ ② 何をするの？ ③ どのように進めるの？

④ これからの地域連携教育の 向かう方向とは？ <受講生は 30 人 アンケート回収率 100%>

小・中・高等学校で、地域の方と、学校や地域で学んだことで、 どんなことを覚えていますか？



①楽しかったし、嬉しかったから <学生>

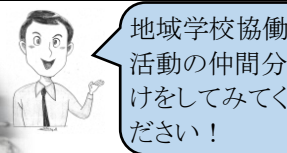
どうして、その活動を覚えているのですか？

③人の温もり・優しさ・親近感を感じたから <学生>

②新しいことを知ったり、できるようになったりしたから <学生>



地域の人と話し合うことで、町の課題の解決策が生まれ、良い地域づくりができるな。 <学生>



地域学校協働活動の仲間分けをしてみてください！

地域学校協働活動は幅広いな。この活動があったから、今までの学校生活が楽しく充実したものになったのだな。 <学生>



地域の文化や伝統はもちろん、住人も支えているのだな。 <学生>

小学校の先生が足りない時、地域の方がボランティアしていることを知った。とても優しいと感じ、心が温かくなった。 <学生>



様々な小中学校で、子供たちのために、保護者や先生、地域の方々がサポートしてくださっていることを、小さい時はあまり考えないで楽しく学んでいましたが、今回の講義で改めて知ることができ、感謝の気持ちでいっぱいになりました。私も何かできることがあればしたいなと思いました。これからたくさんの人と関わって、新しい発見をし、人とつながることで幸福感を感じていきたいです。 <学生>



コミュニティ・スクールの取組は、楽しかった記憶として今も残っています。地域の人と関わることは、色々な年代の人や価値観があるので、色々な視点から考えたりする力が身に付くと思います。活動一つ一つに意味もたくさんあって子供も大人も一緒に成長できると思いました。 <学生>

地域連携教育を受けてきた 20 歳前後の学生の声を聴いて、自己肯定感、他者肯定感、地域肯定感、自律心など「これからの社会をたくましく生きる力」を育む上で地域連携教育は有効であると思いました。

